

私たちの一票がつくばを動かした日

～2015年8月2日～

この日、つくば市で初の住民投票が行われました。
『総合運動公園の基本計画の賛否を問う住民投票』です。

あの時、
市議会は、用地取得を1票差で決めた
真っ二つの状況。しかも、計画は市民への
説明や意向調査もなくつづられ
フタを開けてみれば、なんと総工費305億円の巨大大業。



このままではいけない！まずは計画を止めよう！
と、同じ考えの市民とともに「つくば・市民ネットワーク」は住民投票
の成功に向けて署名活動や集会の実施に力を注ぎました。

そして、住民投票の結果は… **8割の反対票！**
基本計画は**白紙撤回**されたのです。

「投票に行っても意味がない」？
「決まったことはしかたない」？
いいえ！
私たちの一票ってすごい力
持ってます！



つくば・市民ネットワーク運営委員
こもりや

小森谷さやかの活動レポート < 討議資料 >

わたしたち「つくば・市民ネットワーク」は、地域の皆さんと一緒にまちづくりをしたい、と考えています。
わたし小森谷さやかの住んでいる地域（研究学園）からはこんな声が聞こえてきます。



地域交流
センターが
足りないよ。

このあたりは
子どもがどんどん
増えている。
早く新しい学校を
つくってほしい。

子どもを
学校の児童クラブに入れたいけど
なかなか入れない。
民間の児童クラブもいっぱいだし
何よりお金がかかる。
せめて児童館があったらなあ！

でもちよっとお隣の地区になると…

新しい学校もいいけど、
既存の学校の改修も進め
て欲しい。校舎は古く、
とくにトイレの臭いが
ひどく、子どもが勉強に集
中できないと言っている。

通学路の歩道が狭く危険な
場所があるのに、なかなか
補修工事をしてくれない。
開発地域ばかりにお金が
まわっている気がする。

街灯が少なく、
夜道が怖い。



ただ八コモノを造ればいい、という問題ではないですね。

限られた財源の中、どう優先順位をつけていくのか。既存のものをどう活用していくのか。
人それぞれ異なる意見をすり合わせていくことはとても難しいことです。

でも、大事なことは、「市民の声が届く政治である」ということ。

住民投票以外にも、市民の声がしっかり反映されるしくみづくりが必要だと考えています。